

SOKEN TIMES

vol.11 May-2010

金属やプラスチックを強固に接合できる粘着テープ

アクリルフォーム構造用両面テープ「JET テープ」

粘着テープは様々な基材に粘着剤を塗布したのですが、用途ごとにいろいろな種類ものがあります。身近なところでは文具テープ、梱包用テープ、メディカル・衛生用品用テープなどが上げられるでしょう。また部品の組み立てに使われる産業用のテープも、ニーズごとに異なります。家電をはじめとしたエレクトロニクス製品、家具、玩具。また情報通信機器もテープで貼り合わされている部分が意外と多く、携帯電話の窓枠パネル固定などもその一例です。産業用途となると、それに見合った強度、耐久性など要求性能は項目も多く、それぞれに高いレベルが求められます。

では建物や自動車の部品を固定する場合はどうでしょうか。普通なら「釘を打つ」「ビスで留める」「溶接する」「接着剤で固める」といった手段を連想すると思います。真っ先に「テープで貼る」を思い浮かべると人は少ないのではないのでしょうか。「貼る」という言葉からは同時に「剥れる」が連想されるので、建物や自動車の固定用としてはちょっと弱いイメージがあるかもしれません。しかし、実際はこの分野でも粘着テープが使われているのです。

粘着テープの中で最も接合力の強いものは一般に「構造用テープ」と呼ばれ、名前の通り建造物や自動車など、強固に固定する必要がある場合の貼り合せに使用されます。構造用テープは溶接やビスの替りとなる強力な接合力を持つと共に耐熱性・耐寒性・耐水性に優れ、基本的に一度貼ったら剥けません。また、作業工程の多い接着剤や熟練した職人を必要とする溶接とは違い、作業者に技術的な負担をかけず比較的簡単に作業できるので、時間短縮と作業の均一性による生産性の向上が期待できます。



綜研化学の「JET(ジェット)テープ」はアクリルフォームを使用した構造用の両面テープです。接合力の強さに加え、テープに柔軟性、伸縮性があるため曲面での接着にも力を発揮します。金属とプラスチックというような異なる素材同士も貼り付きます。現在、金属性の天井パネルの固定や屋外看板の取り付け、住宅ではドアの貼り合せやキッチン・バス周りの化粧板固定、エレベーターや自動車の内装材固定に使用されるほか、防水シール性に優れているので薄型タイプは電子産業でも活躍しています。

「JET テープ」で使用される粘着剤は自社開発によるシロップ型です。シロップ型粘着剤は環境に付加を与える有機溶剤を使っていないため、地球環境に優しいテープとして身近な用途に最適です。綜研化学の更なる強みは、粘着剤からの一貫生産であるため常に高い品質を維持出来ることと、トータルコスト管理による低価格化の実現にあります。性能とコストパフォーマンス、環境対策という3つの視点から、これからお客様をバックアップ致します。

粘着テープのことは、綜研化学にご相談下さい。

※「JET テープ」のお問合せは、
[加工製品部無溶剤テーププロジェクト](#)まで
電話: 03-3983-2516 E-Mail: chem2@soken-ce.co.jp



綜研化学株式会社

〒171-8531 東京都豊島区高田 3-29-5
<http://www.soken-ce.co.jp/> 営業管理部